

+らiふ ニュース 平成30年度 秋号



(編集・発行)平成30年11月発行
相談支援事業所 宮城野雲母倶楽部+らiふ
〒983-0012 仙台市宮城野区出花1丁目3-11
TEL/FAX: 022-254-6757
HP: <http://kilala.biz/>
編集責任者 秋保 明

宮城野区障害者自立支援協議会 高砂・岩切周辺エリア会

事業所見学ツアー



平成30年度宮城野区障害者自立支援協議会 第1回高砂・岩切周辺エリア会では、「障害者が地域で生活し続ける」という視点から、支援者がツール(障害のある方の活用できる社会資源)を知る機会として、地域に根付いている3つの事業所の見学ツアーを行いました。今回見学させていただいた事業所はそれぞれに特色はありますが、障害のある方が地域の一員として日々の生活を安心して送れるように、地域を基盤とした活動を通して当事者の生活をサポートしています。

縁むすび

小規模地域活動センター「縁むすび」は、精神障害の方を対象におにぎりの製造や販売活動を行っています。地域の行事での注文を受けたり、販売会に参加したりと施設内の活動に留まらず地域とのつながりを広くつくっています。

地域活動推進センター「アクティブ」は、発達障害の方を対象にペーパークラフト製品の作成を中心にそれぞれのニーズに合わせた活動を行っています。製品のクオリティが高く、様々なところから生産依頼の声がかかるそうです。

アクティブ

Offe (わっかフェ)

喫茶店「Offe(わっかフェ)」は、みはるの杜診療所がある建物の1階にあり、当事者の方も店員として働いています。みはるの杜診療所をご利用の方以外でも、そのご家族や地域の方など、どなたでも気軽にご利用できる喫茶店です。地域でのちょっとした集まりなどの場所としても利用できるとのことでした。

アクティブさんの商品です
小物入れなど種類が豊富です



縁むすびさんのおにぎりは
たくさんの種類から選べます



わっかフェさんで
いただきました

【参加された皆様からの感想】

- 住んでいる地域にあることは知っていたけれどなかなか入れずにいました。今回をきっかけに利用してみようと思います。
- 施設を利用してる方とお茶を囲みながら話ができる機会をつくってほしいです。
- 障害福祉の施設はなかなか見る機会がなかった。放課後等児童デイサービスなど、取り組みが違う他の施設も見学してみたい!

【施設見学を通して…】

施設見学を実施することで参加者と事業所とのつながりをつくられたように感じます。さらには、障害のある方の生活への関心をもってもらうきっかけができたのではないかと思います。

おしらせ

宮城野区障害者自立支援協議会 実務者ネットワーク会議 全体会

「見えない障害をお持ちの方が暮らしやすい地域へ」

今回はてんかん、高次脳機能障害、発達障害、難病の当事者や支援者の方からお話をうかがいます。日々の生活の中での困ったことを共有し、障害のある人もない人もその人らしく生活できる地域づくりを目指して一緒に考えていきましょう。

【日 時】平成 30 年 12 月 6 日(木) 14:30~16:30

【場 所】宮城野区中央市民センター 2 階体育館

【内 容】「見えない障害」について理解を深める ○話題提供 ○シンポジウム

*お申込み・問い合わせについては 宮城野雲母倶楽部+らiふ (022-254-6757) まで

仙台市障害者自立支援協議会 第1回地域部会

平成 30 年度第 1 回地域部会が開催されました。地域部会では、障害のある方が地域で安心して生活し続けられるよう体制の整備、各区の障害者自立支援協議会での取り組みの成果や吸い上げられた課題を仙台市としてどのように反映・解決していくかを検討します。今回は今年度の取り組みについて検討されました。

○地域課題の解決に向けた的確な取り組みの汎化

各区障害者自立支援協議会での取り組みを共有し、他の区障害者自立支援協議会で活用できることや、仙台市全体で取り組むことなどを検討していきます。

○区障害者自立支援協議会と地域生活支援拠点の円滑化

平成 30 年 10 月から地域生活支援拠点モデル事業が実施されました。実情を踏まえて連携していくには何が必要なかを議論していきます。

*地域生活支援拠点…緊急介入が想定される方への未然防止も含めた緊急対応を迅速・確実に行う地域での支援ネットワークのことです。

○「仙台で見つけたみんなのつながり事例集」の活用の仕方についての検討

地域部会の各取り組みは区障害者自立支援協議会と協働で行われます。相談支援事業所として、当事者の方々や支援者の方々から生活におけるニーズをキャッチしていくために日々の支援においてアンテナを高く張っていきたいと思います。



投稿コーナー

このコーナーでは利用者の皆様のお声を載せていきます！

ペンネーム・そらさんの体験談から見えないつらさや不便さ、だれにでも起こり得ることであること、どのように乗り越え今の自分があるのかを伝えていきます。

【心の病だからって】 そらさん No.5

ある日、大学で教鞭を取る人が母に「心の病で死ぬ人はいない」と励ましのつもりで言った事を母は「放任していい」と解釈しました。以来苦しいと伝えても「薬を飲め」としか言われませんでした。確かにすぐに落命する病ではないのかもしれませんが、本当に痛みや苦しさを伴う心の病の人を私は病院で見ました。発作を見て私は何度も走って看護師を呼びにいきましたがなかなか誰も来ません。やっと注射を持った人が来て「腕を出せ！」と乱暴な命令を始めました。そのように心の病は軽くみられがちですが苦痛は確かに存在しているのです。

【職員会議に伴う相談業務停止について】

○毎月第二木曜日 13 時~14 時

○毎月第四金曜日 16 時~18 時

平成 31 年 1 月から上記時間帯は職員会議のため相談業務を休止いたします。

【年末年始の相談支援について】

○電話相談のみ（サロン活動はお休み）

平成 30 年 12 月 29 日(土)~平成 31 年 1 月 3 日(木)

※平成 30 年 12 月 28 日(金)の午後はサロン活動はお休みです